

# 長堂奈津子

## ピアノリサイタル

### Program

#### 第1部 J.Sバッハ

平均律クラヴィーア曲集第1巻全曲演奏シリーズ2  
第9番BWV854～第19番BWV864

#### 第2部 ～ラファエル・フォン・ケーベル没後100周年に寄せて～

ケーベル会発足30周年  
お話 堤田泰成 (ケーベル会)

ラファエル・フォン・ケーベル

「9つの歌」より

Mignon” Kennst du das Land” (Goethe)

(ミニヨン”君知るやかの国”) 詩/ゲーテ

他

F.ショパン

舟唄 嬰へ長調 Op.60



メゾソプラノ  
山下 牧子

日時 2024年3月14日(木) 開演 / 19時 (18:30開場)

場所 那覇市文化芸術劇場 なはーと 小劇場

〒900-0015 那覇市久茂地3-26-27

入場料 一般 / 2500円 学生 / 2000円 (当日500円増し) 全自由席



チケットは予約制となっております。  
ご予約はQRコードを読み取り、Googleフォームより  
または、お電話・ショートメールをご利用下さい。

※未就学児入場不可。  
※お車でお越しの際は近隣の有料駐車場を  
ご利用下さるか、公共交通機関をご利用下さい。

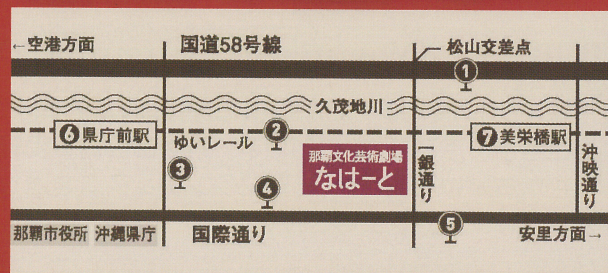
お問い合わせ先：島袋 090-6866-3979 (10:00~15:00)

後援 沖縄タイムス社 琉球新報社

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)沖縄支部

協力 ケーベル会 <https://www.koeberkai.org>

主催 長堂奈津子ピアノリサイタル実行委員会





## ラファエル・フォン・ケーベルについて

ラファエル・フォン・ケーベル Raphael von Koeber (1848~1923) は、東京大学の招きにより明治26年(1893年)来日。その後21年間、哲学、美学、ギリシャ語、ラテン語を教え、東京藝術大学では、11年間、ピアノと音楽史を教えた。日本における哲学の基礎を築くと同時に、日本で急速に西洋音楽の教育が進む中、本格的なピアニストとして、明治期のピアノ界に大きな影響を与えた哲学者で音楽家である。

(島尻政長 哲学、美学)



## 長堂奈津子 (Natsuko Nagado) プロフィール

*Natsuko Nagado*



大阪芸術大学 演奏学科 (ピアノ科) を首席で卒業。同大学専攻科修了。卒業演奏会、関西新人演奏会出演。スイス・ウインタートゥア音楽院 (現チューリッヒ芸術大学) 演奏家養成コース留学。ドイツにてピヒト・アクセンフェルト氏のサマースクールを受講。糸数ひとみ、C・ソアレス、横井和子、ゼンプレーニ・コロネル、H・J、シュトループの各氏に師事。キリスト教短期大学、沖縄県立開邦高等学校芸術科、沖縄県立芸術大学にて非常勤講師を勤める。30数年に渡り、後進の指導にあたり共に、精力的に演奏活動を行う。

ピアノリサイタル (1986年長崎、1987年沖縄、1988年沖縄、1990年スイス、1990年沖縄、1991年沖縄、1993年沖縄、1994年スイス、1997年沖縄、2001年沖縄、2008年沖縄) デュオリサイタル (1992年沖縄) ジョイントコンサート (1990年スイス、1994年沖縄、1995年ハンガリー) オーケストラ共演 (1990年スイス、1995年大阪、チェコ、2000年沖縄) 2014年1月には、父島尻政長追悼のリサイタル (ピアノ協奏曲とケーベル歌曲の夕べ) を行い好評を博す。南風原町を拠点とし、ホームコンサートを企画、チャリティーコンサートに出演、2016年には南風原文化センター主催のレクチャーコンサートを行う、2018年ピアノリサイタル「バッハ平均律クラヴィア曲集第1巻全曲演奏シリーズ1」を行う他、コンクール審査を務める等、音楽愛好家育成に力を入れる。

## 山下牧子 (Makiko Yamashita) プロフィール

広島大学教育学部を経て、東京藝術大学大学院修了

第1回東京音楽コンクール声楽部門1位。第72,73回日本音楽コンクール共に3位入賞。平成27年度よんでん芸術文化奨励賞、令和元年香川県文化芸術選奨受賞。オペラで多くの経験を積んでおり2002年日生劇場オペラ教室《カルメン》タイトルロールでデビュー後、2004年からは新国立劇場にて、プッチーニ《蝶々夫人》スズキ、ツィンマーマン《軍人たち》シャルロッテ、ヴェルディ《リゴレット》マッダレーナ、ワーグナー《ニュルンベルクのマイスタージンガー》マダレーネ等、数多くの舞台に出演。2005年からは東京二期会にも活躍の場を広げ、ヘンデル《ジュリアス・シーザー》タイトルロール、モーツァルト《コジ・ファン・トゥッテ》ドラベッラ、《イドメネオ》イダマンテ、プッチーニ《蝶々夫人》スズキ、ワーグナー《トリスタンとイゾルデ》ブランゲーネ等を演じている。

コンサートでも堅実なテクニックに裏付けされた端正な歌唱は高く評価されており、国内主要オーケストラと、ベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」等で度々共演し、チョン・ミョンフン指揮ロッシェニ「スターバト・マーテル」、マラー「交響曲第2番<復活>」、A. バッティストーニ指揮ヴェルディ「レクイエム」のソリストも務める。2022年、社会福祉法人「旭川荘」より第8回グラチア音楽賞を受賞したことをきっかけに、自閉症の娘の母親としても音楽と向き合い、演奏活動及び後進の指導にあたりている。

東京二期会会員。沖縄県立芸術大学教授。



山下 牧子  
~メゾ・ソプラノ~

Makiko Yamashita Mezzo-Soprano

## 堤田泰成 (Yasunari Tsutsumida)

現在ケーベル会事務局担当、上智大学文学部科研リサーチフェロー、中世思想研究所準所員。専門はショーペンハウアー、近世哲学、宗教哲学。2019年、第2回西周賞受賞。

主な業績に「アッジの聖フランチェスコを通して見たショーペンハウアーの「意志の否定」論」(『カトリック研究』第89号、2020年)、「ピンゲンのヒルデガルト『スキヴィアス』緒言および第一部の第一の幻視」(『上智哲学誌』第33号、2021年、共訳)など。